

## 完了後の評価個表

整理番号	24
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	宮崎県
地域（地区）名	みみかわ 耳川	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等
関係市町村	ひゅうが 日向市ほか2町2村	管理主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地域は、宮崎県の北部に位置し、耳川流域の1市2町2村からなっており、地形の特徴は、全般的に地形が急峻であり、西部の熊本県境は標高1,000m級の山々が連なり、九州山地の一部を形成している。</p> <p>計画の対象とする民有林面積は131,173haで、うち人工林面積が77,401ha（人工林率59%）となっている。また、人工林の樹種別構成は、スギが全体の64%を占め、齢級別面積はXI齢級の12,944haをピークにⅧ～Ⅻ齢級が60%を占めるなど、本格的な利用期を迎えている。</p> <p>そのため、森林資源の効率的な循環利用や多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、高齢級間伐の実施や伐採跡地の植栽による適切な保育管理を行う必要がある。</p> <p>また、本地域の山岳部は九州中央山地国定公園に指定され、森林渓谷や山岳景観に優れ、平成27年には世界農業遺産「高千穂郷・椎葉山地域」にも認定され、グリーンツーリズムや観光保養の場所として脚光を浴びている。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養機能や山地保全機能などの公益的機能を発揮するために必要な造林や間伐などの森林整備を積極的に推進するとともに、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 23,580ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p style="text-align: center;">路網整備 7,253m 林道開設、改良</p> <p>・総事業費 10,660,484千円（税抜き10,038,475千円） （平成22年度の評価時点 7,899,670千円（税抜き7,523,495千円））</p>
-----------------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動や費用便益分析で使用する単価の変化等によるものである。</p> <p>総便益（B）110,274,200千円（平成22年度の評価時点47,209,825千円※）          総費用（C）20,815,607千円（平成22年度の評価時点14,149,610千円※）          分析結果（B/C）5.30（平成22年度の評価時点3.33※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新、保育など23,580haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、列状間伐の実施や高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。</li> <li>・林道の開設により7,253mの路網が整備され、車両が通行可能となったことにより、森林整備事業地までの通勤時間の短縮や資材運搬等が容易になった。また、大型車両による木材運搬が可能になり、事業地から林道までの搬出距離が短縮され、木材生産の経費の縮減が図られた。</li> <li>・森林整備、路網整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。</li> </ul>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</li> <li>・整備された路網は、適切に維持・管理しており、森林施業の際には、草刈りや路網の整備等を施工し、維持管理状況は良好である。</li> </ul>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、様々な公益的機能が発揮されている。</li> </ul>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>地域の産業別人口は、第1次産業11%、第2次産業29%、第3次産業61%となっており、林業の生産額は、第1次産業の34%を占めている。</p> <p>森林施業に資する森林路網の整備・連結によって高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進され、効率的・効果的な森林施業が実施可能となっている。</p> <p>これらを背景に、日向市に大型製材工場（現在年70万m<sup>3</sup>）が進出し、平成26年8月から稼働（本地域には、当該工場を含め県全体の13%に当たる19の製材工場が存在）するなど、我が国の一大製品供給基地となるに至っている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、木材を安定的に供給するため、森林経営計画等に基づく適切な森林整備及びその実施に必要な路網を着実に整備する必要がある。</li> <li>・スギを主体とした豊富な森林資源が本格的な収穫期を迎えていることから、計画的な伐採と確実な再造林により、将来にわたる木材の利用を維持し、本地域の基幹産業である林業の成長産業化を促進することが必要である。</li> <li>・「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業の確立のため、コンテナ苗による植栽や伐採と造林の連携による一貫作業や下刈り等の保育作業を省力化し、低コスト再</li> </ul>

	<p>造林に取り組んでいく必要がある。</p> <p>地元の意見： （宮崎県）</p> <p>森林整備事業実施により水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。今後も素材生産や木材加工業者等との意見交換を継続し、川上から川下まで一体となった再造林支援の仕組みづくりを行っていく。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 間伐等の森林整備を通じて、森林の有する公益的機能の発揮が図られ、地域における水源地や、土地の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ってきている。</p> <p>また、路網整備では木材の搬出が困難な箇所を優先することや、丈夫で簡易な構造の林業専用道を採用すること等により、森林整備事業箇所へのアクセス向上が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：みみかわ  
耳川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	23,180,615	
	流域貯水便益	9,832,182	
	水質浄化便益	33,703,304	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,325,953	
環境保全便益	炭素固定便益	18,196,997	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	48,447	
	木材利用増進便益	120,480	
	木材生産確保・増進便益	8,881,714	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,135	
	森林整備促進便益	982,373	
総 便 益 (B)		110,274,200	
総 費 用 (C)		20,815,607	
費用便益比	$B \div C = \frac{110,274,200}{20,815,607} = 5.30$		

